

市長会見の項目（概要）

と き：令和3年7月1日(木)14:00～

ところ：市政記者室

■ 大阪市教育支援センター（適応指導教室）新大阪のリノベーションについて

<担当：教育委員会事務局 指導部 教育活動支援担当 電話：06-6208-9174>

【フリップあり】

- ◆ 大阪市教育委員会事務局は、教育支援センターいわゆる適応指導教室について、令和2年度開設した「教育支援センター花園」の登録者数の増加に伴い、令和3年度から東淀川区にある、むくのき学園の施設に「教育支援センター新大阪」、生野区にある、もと鶴橋中学校跡地を「教育支援センター桃谷」として開設し、現在は3か所で運用している。
- ◆ 教育支援センターは、市立小中学校の児童生徒で学習の意欲はあるが、心理的な不安など何らかの理由で登校ができない児童生徒への学習支援及び教育相談の充実を図るとともに、学習の場を提供することを目的としている。
- ◆ 教育支援センターで活動することで、在籍する学校で出席扱いとすることが可能となる。
- ◆ イケア・ジャパン株式会社 IKEA 鶴浜の協力のもと、教室を居心地の良い環境に整備した「教育支援センター花園」では、令和2年6月の開設以降、令和2年度末までに、62名の生徒が登録し、集団生活への適応、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善等のための相談・支援等を行い、37名の生徒が延べ約868日出席扱いになるとともに、在籍校との連携により、中学3年生11名全員の進路決定につながった。
- ◆ 利用する生徒や保護者からも、「ゆったり過ごすことができ、心が落ち着く。」、「子どもにとっても気持ちのゆとりにつながると思う。」などの意見も聞かれ、教室のリノベーションが生徒によい影響があったと考えている。
- ◆ 「教育支援センター新大阪」においても、イケア・ジャパン株式会社 IKEA 鶴浜からのお申し出により、家具やインテリア雑貨の寄附とともに、「心理的負担の軽減が図れる居心地の良い空間の創出」をコンセプトに、配色やレイアウト変更などを行った。
- ◆ このたび、令和3年6月29日(火曜日)にリノベーションが完了したことから、7月1日(木曜日)から当該教室の利用を再開する。「教育支援センター桃谷」のリノベーションについては、現在調整中である。
- ◆ 令和3年度から各教育支援センターでは、小学生の受入れも可能となっており、登録者数の枠にも余裕がある。教育支援センターに興味をもった児童、生徒や保護者の方は、見学も可能となっているので、まず在籍する学校か教育委員会事務局へご相談いただきたい。
- ◆ 引き続き、不登校児童生徒の支援充実に向け個々の状況に応じたきめ細やかな支援に取り組んでいく。